

令和 年 月 日

東員町議会

議長 南部 豊 様

東員町議会 議員 片 松 雅 弘

研修報告書

研修期間	令和 7年 7月 10日 (木)
研修（視察）先	健康長寿課
目的（テーマ等）	がん検診の現状と今後について
参加議員名 (複数の場合)	
資料添付の有無	有 • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名：

] 研修概要、内容、所感

健康長寿課より「がん検診の現状と今後について」をレクチャーしていただきました。東員町では国の指針による対策型検診として推奨されており、科学的根拠に基づくがん検診を実施しています。

・胃がん検診	胃部エックス線検査	40歳以上
・子宮がん検診	細胞診検査	20歳以上
・肺がん検診	胸部エックス線検査及び喀痰検査	40歳以上
・乳がん検診	乳房エックス線検査（マンモグラフィ）	40歳以上
・大腸がん検診	血潜反応検査（2日法）	40歳以上
・前立腺がん検査	血液検査（PSA検査）	55歳以上

なお町独自で男性がん検診として前立腺がん検診（腫瘍マーカーPSA検査）を実施しています。

受診率の算出も東員町が実施した受診率での計算ですから、「協会けんぽ」など職域との連携がとれていなく正確な全体の受診率の算出ができていません。

受診率の向上のためにも、連携ができる方法を考えるべきだと思います。

特に気になったのは、がんの早期発見に有効的な腫瘍マーカーは、なぜ前立腺がん検査（PSA検査）しか行わないのか、そして他にも肝臓がんやすい臓がん、甲状腺がんなど様々な、腫瘍マーカーの検査があるので実施してみてはいかがですかと、聞いたところ、国から推奨されていないので実施しないとのお答えでした。

国が推奨していなくても腫瘍マーカー検査は行っていただきたいと思います。

今後自治体の特色やこだわりは**選ばれる自治体**には、必要だと思います。

特に、健康意識や健康寿命の高い町と発信している東員町ですから、子育ても、健康意識の高い町として長寿の町として、独自に行えればよいと思います。

予防や早期発見は必ず医療費削減にもつながります

ついにアプリによる健康づくりを今度の全協で公表されることですが、簡単に使え東員町でブームになるようなアプリであることに期待をします。